

事務事業名		橋りょう長寿命化事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課	
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり						担当係	道路維持係	担当課長名	青木 茂良		
	施策	3 快適で質の高い住環境の整備						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	2 生活道路の整備						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	市単独事業・国県補助事業	国県補助事業					
	11193	一般	8	2	4	橋りょう長寿命化事業	任意的事業・義務的事業	義務的事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～ 年度		根拠法令 条例等	道路法	実施方法	直営					
							事業分類	施設維持管理事業(市主体)					
							リーディングプロジェクト	該当なし					
							市長マニフェスト	該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
今後老朽化する道路橋の増大に対応するため、H.23年度策定された長寿命化修繕計画をもとに、従来の事後的な修繕及び架け替えから、予防的な修繕及び計画的な架け替えへと円滑な政策転換を図るとともに、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕及び架け替えに掛かる費用の縮減・平準化を図りつつ、地域の安全性・信頼性を確保する。 ・橋長15m以上の橋梁数:117橋		市道界46号線(越名橋)橋梁補修工事(H25繰越) 市道界22号線外橋梁補修工事に伴う詳細調査設計業務委託 3箇所 市道界49号線外橋梁定期点検業務委託 17箇所 市道赤見48号線外橋梁定期点検業務委託 9箇所						
道路橋等については、5年に1回の近接目視による点検等を規定する道路法施行規則の一部を改正する省令が施行された。(平成26年7月1日施行)それに伴い、15m以上の橋りょうから、2m以上に、点検方法も遠方目視から、近接目視点検に変更となっている。		活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		長寿命化修繕実施橋りょう数	橋	1	1	1	1	1
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)								
橋長15m以上の橋りょう		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		橋長15m以上の橋梁数	橋	114	117	118	118	118
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)								
今後老朽化する道路橋の増大に対応するため、H.23年度に策定された長寿命化修繕計画をもとに従来の事後的な修繕及び架け替えから、予防的な修繕及び計画的な架け替えへと円滑な政策転換を図る。 H27より新規事業となる道路構造物定期保守点検事業の点検結果により、計画の改定が必要となってくる。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		実施橋梁数÷橋長15m以上の橋梁数	%	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)								
住環境に最低限必要な機能と安全性が確保されている。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		住環境に満足している市民の割合	%	72.0	68.8	76.0	76.0	76.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	国庫支出金	千円	29,008		17,765		12,650		35,750		19,250	
	県支出金	千円			4,900		9,300		23,400		11,300	
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	24,794		10,145		3,550		14,780		9,180	
	事業費計(A)	千円	53,802		32,810		25,500		73,930		39,730	
事業費の内訳	千円	委託費	4,179	委託費	21,244	委託費	8,000	委託費	8,000	委託費	8,000	
		工事請負費	49,623	工事請負費	11,566	工事請負費	17,500	工事請負費	65,930	工事請負費	31,730	
人件	正規職員従事人数	人	10		10		10		10		10	
費用	のべ業務時間	時間	2,000		2,000		2,000		2,000		2,000	
	人件費計(B)	千円	7,782		7,882		7,882		7,882		7,882	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	61,584		40,692		33,382		81,812		47,612	

事務事業名	橋りょう長寿命化事業	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課	担当係	道路維持係
-------	------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	橋梁の老朽化は全国的な問題となっており、国ではこれまでの事後保全型管理から予防保全型管理へと転換し、橋梁の長寿命化を図っている。本市でも、急速に高齢化橋梁が増大することが想定され、橋梁の長寿命化を図るため、平成23年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定し、平成25年度から計画に基づき実施することとなった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成24年12月に発生した、笹後トンネルでの天井板の落下事故により、橋りょうやトンネルなどの道路構造物の社会インフラの維持管理の重要性が注目されている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	市議会において、橋りょう長寿命化修繕計画策定や当該事業に対し、一般質問が幾度かあり、関心の高さが伺える。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	利用者の安全に対する関心は非常に高くなっており、橋梁の老朽化がさらに進むことから、安全かつ円滑な交通を確保するため、今まで以上に本事業の充実を図らなければならない。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	橋りょうの老朽化が進行するなか、橋りょうの修繕計画を策定し、修繕等を実施していくことは、地域の道路網の安全性、信頼性が確保できる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	橋りょうを利用する人の安全を確保することは、道路管理者である市の重要な責務であり、妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	平成25年度までは、市が管理する604橋すべての橋りょうについて計画を策定することは困難であることから、地域の重要な道路網で修繕及び架け替えに係る事業費が大きい橋長15m以上の主要な橋りょうを対象としていたが、新規事業である道路構造物定期保守点検事業の点検結果により、15m未満の橋りょうについても、緊急修繕が必要なら対象となってくる。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がかなりある	理由・改善案	橋りょうの老朽化が進行しているなかで、事業費、人員を増やすことにより、事業の進捗を早めることにより、健全な橋りょうが増え、安全性、信頼性が増す。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、予防的な修繕及び計画的な架け替えを実施することで、老朽化した橋りょうの長寿命化を図るとともに、膨大な事業費の平準化を図っているため、事業費、人件費の削減は事業成果の低下に繋がるため、削減の余地は無い。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	本事業は、橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、市道橋の安全性、信頼性を確保するため実施しており、特定の受益者はいない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか?) 道路管理者として、市道橋の安全性、信頼性を確保することは重要な責務であり、休止、終了することは出来ない。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 今後、老朽化する市管理橋りょうの増大に対応するため、今まで以上に事業の充実を図らなければならない。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上		○	維持		×	低下	×	×	橋りょうを計画の管理水準に保つためには、事業費はもとより、人員の増を図らなければならない。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上		○																	
	維持		×																	
	低下	×	×																	